

八街市木材利用促進方針

(目的)

第1 この方針は、公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律（平成22年法第36号。以下「法」という。）第9条第1項の規定に基づき、千葉県が定めた千葉県内の公共建築物等における木材利用促進方針（平成23年3月31日付け森第2205号）に即して、法第9条第2項に掲げる必要な事項を定め、市有施設及び市施工土木工事において木造化・木質化等を推進することにより、八街市民にやすらぎとぬくもりのある健康的で快適な公共空間を提供するとともに、循環型社会の構築や地球温暖化の防止、林業・木材産業の振興、森林整備の促進などに資することを目的とする。

(用語の定義)

第2 この方針に使用する用語の定義は、次の各号のとおりとする。

(1) 「市有施設」とは、市が事業主体となり建築する公共建築物（法第2条第1項に規定する建築物をいう。以下同じ。）及び工作物のうち、別表1に掲げるものをいう。

(2) 「建築」とは新築、増築及び改築（大規模改修を含む）をいう。

(3) 「市施工土木工事」とは、市が事業主体となり施工する、道路、林道、公園、河川等に係る土木工事をいう。

(4) 「木造化」とは、市有施設の構造耐力上主要な部分（柱、梁、壁、小屋組等）の全て又は一部を木造とすることをいう。

(5) 「木質化」とは、建築物の内装及び外壁など主要構造部以外に木材を使用することをいう。

(6) 「地域産材」とは、県内の森林から産出された木材を中心とし、原則として「ちばの木認証制度」に基づき認証された木材をいう。

(木材の利用の促進のための施策に関する基本的事項)

第3 市は、法第4条に規定する地方公共団体の責務を踏まえ、自ら率先してその整備

する市有施設及び市施工土木工事に於いて木材の利用を促進する。

2 市は、木材の利用に当たり、地域産材の利用に努める。

(市有施設に於ける木材の利用の目標)

第4 市有施設の建築に当たっては、次の各号に掲げるものを除き、建築基準法（昭和25年法律第201号）その他の法令に基づく基準に於いて耐火建築物とすること又は主要構造部を耐火構造物とすることが求められていない低層の公共建築物及びこれに付随する工作物は、原則として木造化を図るよう努めるものとする。

なお、これ以外の施設であっても、木造化することを検討する。

(1) 建築基準法等の法令や施設の設置基準などにより、木造化することが困難な施設

(2) 施設の用途や保安、維持管理などの特殊性により、木造化することが困難な施設

(3) その他、木造化することが困難な理由があるもの

2 市有施設の建築及び改修に当たっては、木造、非木造に関わらず、別表2に掲げる部分について、極力木質化を進める。

3 木造化及び木質化の実施に当たっては、可能な限り地域産材を使用する。

(市施工土木工事の木材利用)

第5 市施工土木工事に於いては、間伐材等の使用に努める。

(市有施設の備品及び消耗品)

第6 市有施設に於いて、机、椅子等の備品及び室名プレート、文具類等の消耗品には、木材を用いた製品の使用に努める。

(市有施設の暖房器具等)

第7 市有施設に於いて、暖房器具やボイラーを設置する場合は、木質バイオマス燃料とするものの導入に努める。

(普及)

第8 市は、市有施設及び市施工土木工事における木材の利用の促進の意義等について市民に分かりやすく示すよう努める。

2 市有施設の管理者等は、多くの市民が木造施設に触れ親しみ、木材の持つ良さや木材利用の意義を知ることのできるよう、関係する木造建設の普及に努める。

(コスト縮減への留意)

第9 この方針の運用にあたっては、市有施設整備等のコスト縮減に取り組む必要性に十分留意する。

(適用)

第10 この方針は、平成31年4月1日から適用する。

別表1 木造利用を促進すべき公共建築物

種類	具体的事例
学校	校舎、体育館、武道場、部室棟等の付帯施設等
社会福祉施設	児童福祉施設、老人福祉施設、障害者福祉施設等
運動施設	体育館、武道館、水泳場等
社会教育施設	図書館、博物館、青年の家、公民館等
公営住宅	市営住宅等
庁舎	庁舎、警察関係施設等
公務員宿舎	職員住宅、教員住宅等
その他	研修施設、コミュニティ施設、消防防災施設、公共交通機関の旅客施設、高速道路の休憩所等

別表2 公共建築物において内装等の木質化を促進する部分

種類	共通部分	施設ごとの部分
学校	エントランスホール ロビー 廊下 会議室又は研修室 食堂	教室、職員室、保健室、図書室、体育館、武道場、部室棟等
社会福祉施設		居室、娯楽室、リハビリ室、面談室等
運動施設		体育館、武道場、水泳場等
社会教育施設		展示室、宿泊室、図書室等
公営住宅		居室等
庁舎		事務室、応接室等
公務員宿舎		居室等
その他		休憩室、事務室、多目的室、駅舎の待合せ場所、高速道路の休憩所、観光案内所、目に触れる機会が多い部分等